



### ③パネルディスカッションの内容紹介(つづき)



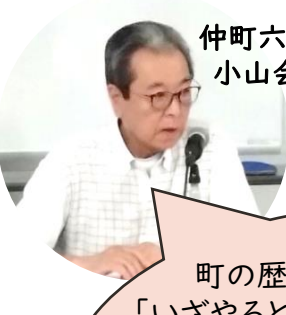
埴アドバイザー

Q3: 推進地区に向けて課題や苦労はありましたか？

これまで積み上げた経緯があり、大きな抵抗感はありませんでした。**町人まちであり、「助け合いの精神」「繋がりのあるまち」**であるのだと実感しました。

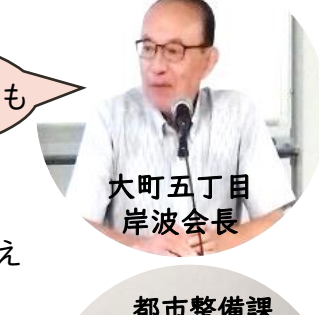


南本町三丁目 大塚会長



仲町六丁目 小山会長


推進地区認定に向けた抵抗感はありませんでした。景観づくり重点区域の指定は、雁木のないエリアの住民にも利点を感じてもらえるような取組を検討しています。



大町五丁目 岸波会長


課題解決に向けた行政の考え

町の歴史として「職人まち」であり、「いざやるとなったら自分のことを捨ててもやる」という職人氣質の住民が依然多く存在しています。現時点では具体的な合意形成には至っていませんが、跡地利用については、まずは試験的な活用を考えています。



都市整備課 北島参事

引き続き町内会と話し合い、課題を共有します。課題解決に向け、今の支援制度を見直し、より利用しやすいよう努めます。



埴アドバイザーまとめ

推進地区認定に向けた話し合いのプロセスが大切で、堅苦しくなく、楽しみながらやっていくことが重要です。

本日9月1日は防災の日です。能登半島地震では、狭い道路に緊急車両が進入できない事例がありました。大町五丁目では、地元住民と協働して狭い道路を解消する取組を進行中と聞いています。成果に期待しています。

最後に、**まちづくりは子、孫にバトンを渡していく作業**です。私たちのできることを続け、この素晴らしい高田地区がこれからも発展、継続することを願っています。

### まちなか居住推進事業について

#### 支援・補助制度について

この制度は、まちなか居住推進地区認定を受けた町内会でのみ活用できます

<p>若者・子育て世帯をまちなかに</p> <p><b>空き家の購入支援</b> (空き家の購入費の補助)</p>	<p>空き家を使ってもらおう</p> <p><b>空き家の片付け支援</b> (空き家内の家財道具の搬出・処分費の補助)</p>	<p>まちなかの暮らしを体験する機会を創出</p> <p><b>空き家の賃貸用リフォーム支援</b> (空き家を賃貸物件とするための改修工事費補助) ※新築建築費の50%以内、耐火工事は必須</p>	<p>まちなかの暮らしを体験</p> <p><b>お試し居住家賃支援</b> (戸建て賃貸物件への体験入居家賃補助)</p>
<p>まちなかに定住する人を応援</p> <p><b>町家のリフォーム支援</b> (町家等の修繕・改修工事費補助) ※耐震補強または防火・耐火工事は必須</p>	<p>まちなか住宅の建替えを応援</p> <p><b>町家の建替え支援</b> (町家等を新築した際の建築費補助) ※耐震補強または防火・耐火工事は必須</p>	<p>まちなかに新規出店する人を後押し</p> <p><b>空き店舗等の活用支援</b> (空き店舗、空き家を活用した出店・事務所設置に係る家賃補助の補助)</p>	<p>まちなかの魅力を向上</p> <p><b>雁木通りの街なみ形成支援</b> (景観づくりに関するルールに基づく修景事業費の補助)</p>

認定地区(高田) 大町五丁目、南本町三丁目(直江津) 天王町、福永町

空き家マッチング制度は、随時受け付けております(誘導重点区域の町内会対象)

まちなか居住推進地区認定について ※まちなか居住推進地区以外でも活用可能!

まちなか居住推進地区認定に向け、個別の相談やワークショップ等を行います。  
ご興味のある町内会様、遠慮なくお声がけください。

何なりと市にご連絡ください!

発行 上越市まちなか居住推進事業事務局(窓口:上越市 都市整備課 市街地整備係)

E-mail:toshi-shigaichi@city.joetsu.lg.jp

Tel:025-520-5764/Fax:025-526-6112

上越市 まちなか居住

検索



上越市まちなか居住推進事業

【高田地区】

ニュースレター Vol.15

【発行年月】  
令和7年10月

「まちなか居住推進事業」は「これからも住み続けたい」「新たに住んでみたい」「また訪れたい」と思う人が自然に集まるまちを目指す独自のまちづくりの取組です!

令和7年9月1日に高田地区の25町内会を対象に座談会を実施しました



パネルディスカッションの様子

### 「まちなか居住推進事業」の座談会

まちなか居住推進事業の情報共有を目的として、毎年1回開催している「座談会」をオーレンプラザで行いました。

座談会では、まず推進地区や推進地区を目指す町内会長と行政から、令和6年度の取組報告を行いました。

その後、推進地区認定を受けている「大町五丁目」と「南本町三丁目」、そして新たに推進地区認定を目指している「仲町六丁目」の町内会長と市役所の担当参事がパネリストになり、パネルディスカッションを行いました。

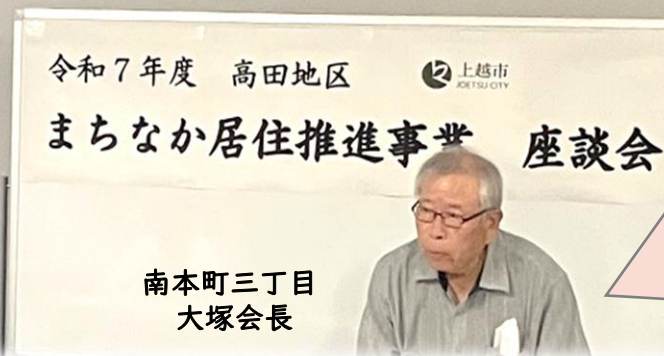
パネルディスカッションでは、「**推進地区に認定されてみて感じたこと**」「**推進地区に向けて課題と感じたこと**」「**行政としてできる支援**」などをテーマに意見交換を進めました。座談会で出た具体的な事例や率直な意見は、裏面に記載しています。





## ①町内会長からの取組報告

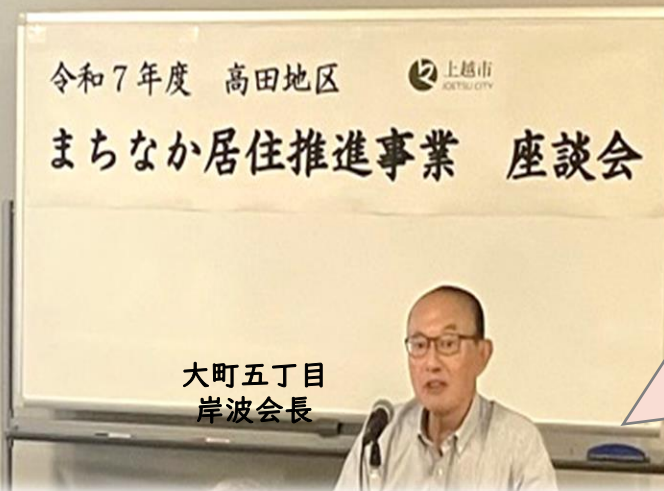
### 【南本町三丁目】



南本町三丁目  
大塚会長

青田川の灯し火、雁木通りフェスティバル等のイベントを開催しました。これらのイベントは町内会のみならず、学校区単位で9町内会、小学校、中学校との連携によって実施している点が特徴です。まちなか居住推進事業の開始当初から町内会長を務めており、当初は行政によるハード整備を求めていましたが、今は「人と人との繋がり」を重視したソフト対策を続けていくことが大切だと感じています。

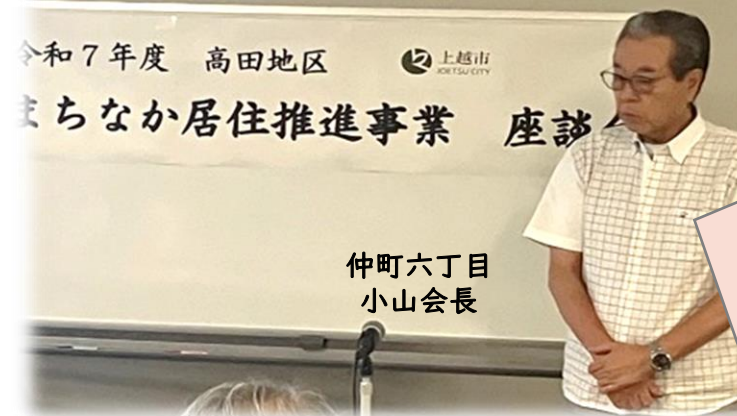
### 【大町五丁目】



大町五丁目  
岸波会長

町内会館の隣に位置する稲荷神社を中心に町内活動を展開しており、毎年9月9日、10日にかぼちゃ祭りを開催しています。これまでに小学生と干し柿をつくる活動を行ったほか、今年度は高田祇園祭において中学生を招いて神輿を担ぐ取り組みを実施しました。こうした経験が大人になったときに地元に愛着を感じるきっかけになればと思っています。

### 【仲町六丁目】



仲町六丁目  
小山会長

令和7年5月10日に町内会主催で懇談会(勉強会)を開催しました。まちなか居住推進事業が始まってから3代目の町内会長です。これまでの取組をあらためてまとめ、町内で人口減少や少子高齢化への危機感を共有することができました。これから旧市営住宅の解体後の跡地利用やまちなか居住推進事業の推進地区認定に向けて、町内で具体的な話し合いを進めていく予定です。

## ②行政からの取組報告

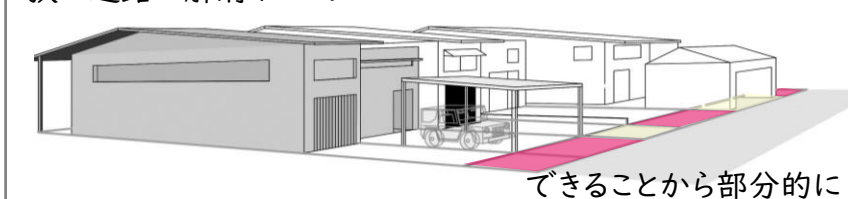
### ■個人への支援に加え…

#### 令和6年度の支援制度の活用事例



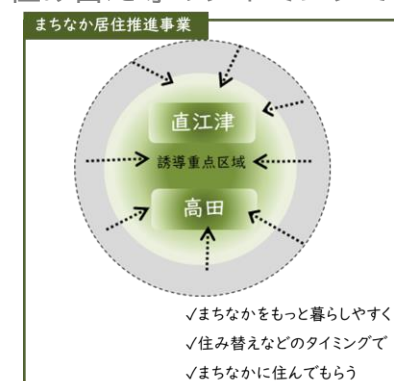
### ■まちの整備にも着手

#### 狭い道路の解消イメージ



行政からの取組報告として、まちなか居住推進事業の背景についておさらいしました。これからの取組としてこれまでの支援制度を活用した個人への支援に加え、城下町高田特有の課題解決に向け「まちの整備」にも着手したいことを説明しました。また、昨年度のアンケート結果から、まちなか居住推進事業に対して、町内会の負担感が大きいといった意見に対しては、行政も一緒に取り組んでいくことを話しました。

### ■…住み替え等のタイミングで…



## ③パネルディスカッションの内容紹介



Q1:まちなか居住推進地区になってみてどうですか？

・補助金制度を活用した方から、町内活動を続け推進地区認定を受けたことに関して、町内会への感謝の言葉がありました。  
・このような取組を徐々に広げていきたいと思います。



・推進地区認定を受けて、補助金を活用した修景整備により、周辺景観に配慮した色彩での修繕が進み、街並みがよくなっています。  
・推進地区や景観づくり重点区域への認定を目指し、町内で話し合いを進めてきたことで、団結力が深まったと感じています。



Q2:推進地区を目指すきっかけは何ですか？

これまでの経緯を振り返り人口減少や少子高齢化への危機感を覚えました。60年前の町の賑わいを再現したい、自身が子ども時代に抱いた町への思い出を、将来の子どもたちに継承したいと考えています。町内会長を務めるからには何かしなければならぬと思い取り組んでいます。

